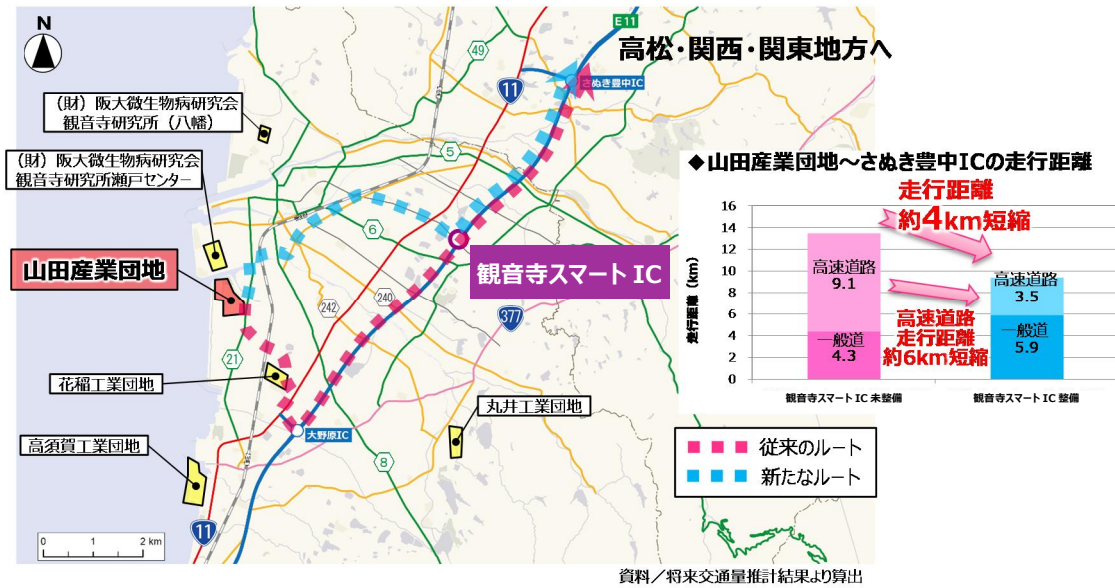


(1) 【物流・地域産業】物流効率化に伴う生産性向上により地域ブランド力の強化

整備効果

観音寺スマート IC が整備されることで

- より早く、高速道路へのアクセスが可能となり、距離短縮により、物流コストの削減が期待される。
- 時間・距離短縮により、畜産物の損傷の低減、鮮度の高い農産物（レタス、ブロッコリーなど）の納品が可能となりブランド付加価値の向上が期待される。



関係者の声

●スマート IC を利用することで、若干の時間短縮、物流経費が抑えられるため、流通経路は変化すると考えられる。(観音寺市内食品製造企業)

図 1.1 【物流・地域産業】整備効果イメージ (工業)



関係者の声

●高速道路に早く乗れることで走行性が向上し、牛の傷を防ぐことが可能となり、枝肉（えだにく）量が増える上に、商品価値が上がることは確実に期待される。(オリーブ牛生産者)

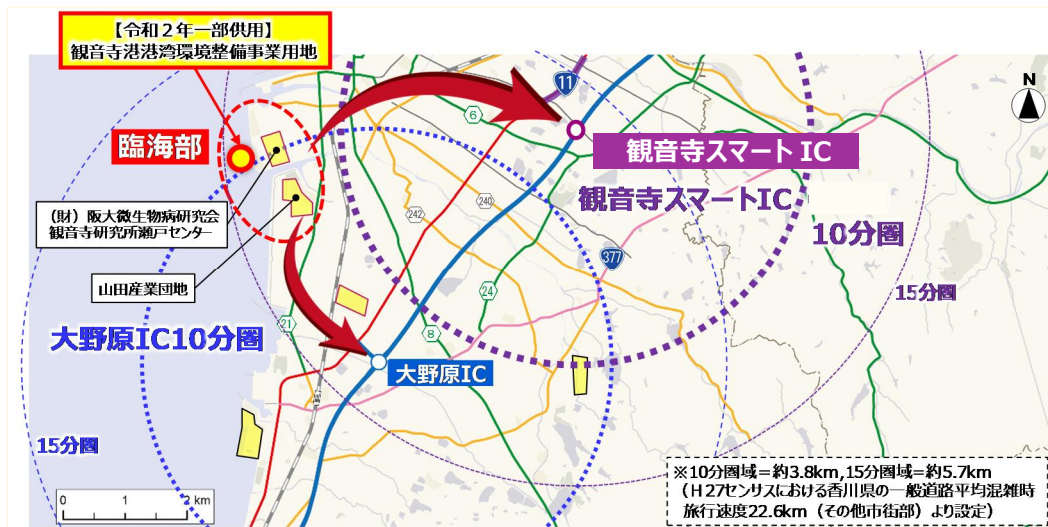
図 1.2 【物流・地域産業】整備効果イメージ (農業・畜産業)

(2) 【企業立地・雇用創出】地理的強みを活かした企業誘致による雇用促進

整備効果

観音寺スマート IC が整備されることで

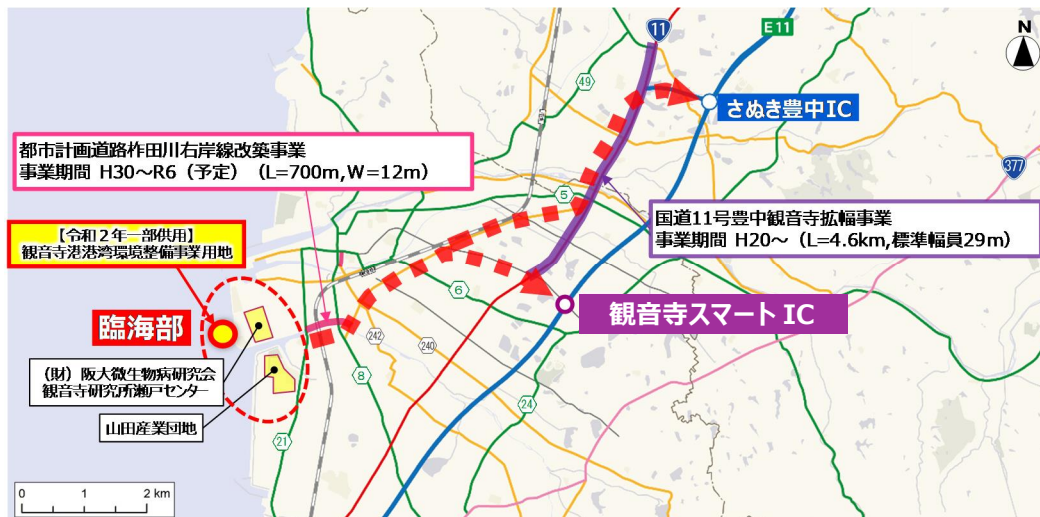
- 新たな埋立地を含む臨海部から 10 分程度でアクセス可能な IC が 2 つになり、選択肢が増え、利便性の向上が期待される。
- 事業中の道路整備との相乗効果により更に高速道路へのアクセス性が向上することが期待される。



関係者の声

- 企業においては時間短縮・時間的信頼性の向上はメリットになる。(観音寺商工会議所)

図 1.3 【企業立地・雇用創出】整備効果イメージ (IC 選択)



関係者の声

- 作田川右岸線との同時期整備により、埋立事業箇所への流通・連絡が容易になり、大幅な時間短縮が期待される。(観音寺市役所)
- 観音寺市は、県庁所在地である高松市や、通勤動向として隣県の四国中央市及び三豊市ともつながりが大きく、交通手段は高速道路を使った自動車であることから、スマート IC の整備は、四国の中心に位置する好立地条件を最大限生かすまちづくりにおいて絶大な影響と効果をもたらす。(観音寺市役所)

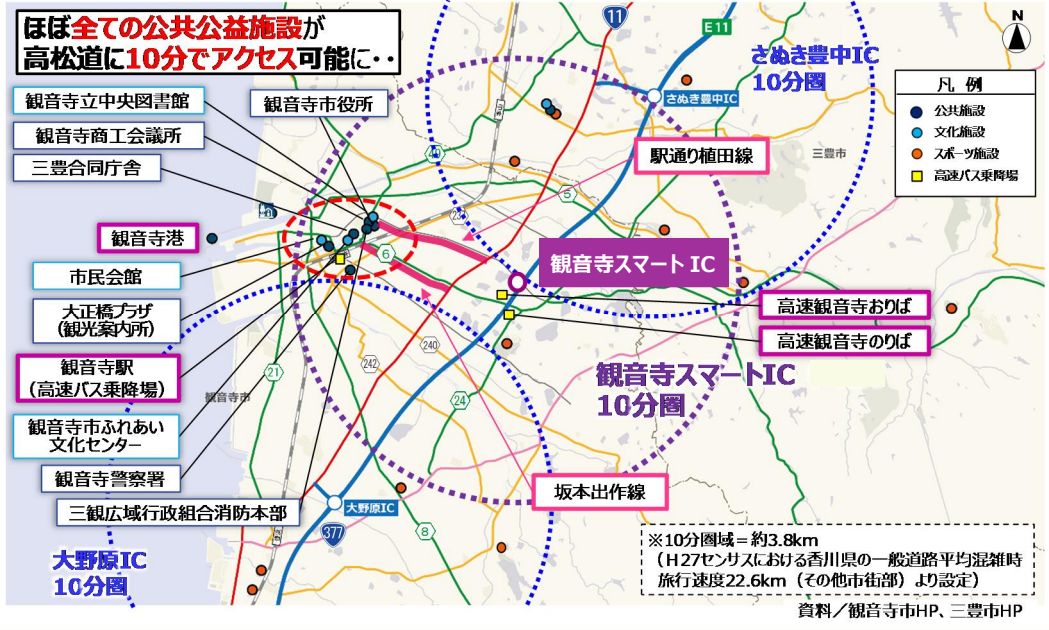
図 1.4 【企業立地・雇用創出】整備効果イメージ (他の道路事業との関係性)

(3) 【地域間交流・定住】交通結節点の連携強化によるコンパクト化+ネットワークの促進

整備効果

観音寺スマート IC が整備されることで

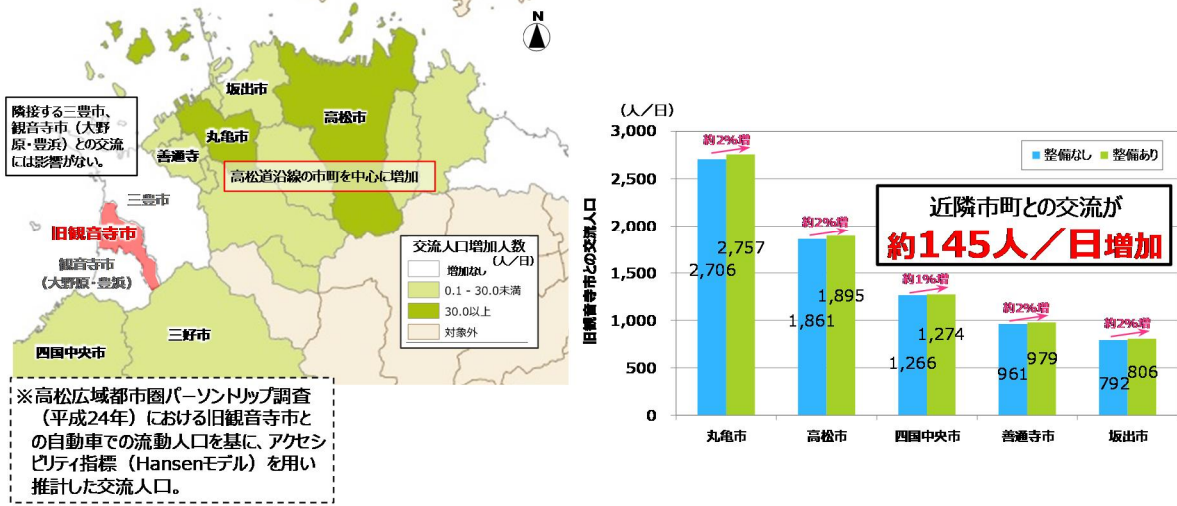
- 観音寺市中心市街地と IC が 10 分以内にアクセスが可能となり利便性向上が期待される。
- 近隣市町との地域間交流が活発になり年間約 5 万人の交流人口増加が期待される。



関係者の声 ● IC の選択肢が増えることになり良いと思う。(観音寺市民)

図 1.5 【地域間交流・定住】整備効果イメージ (中心市街地)

■ 旧観音寺市と近隣市町との交流人口の変化



関係者の声 ● 市役所、市民会館、JR 駅などがある観音寺市中心市街地への主要な経路として、駅通り植田線と坂本出作線の 2 路線 (図 4.5 参照) から直線的なアクセスが可能となり、生活、通勤、救急・防災連携、文化、観光における市の発展に寄与することは確実である。(観音寺市役所)

図 1.6 【地域間交流・定住】整備効果イメージ (交流人口)

(4) 【観光】わかりやすいルート案内による観光振興

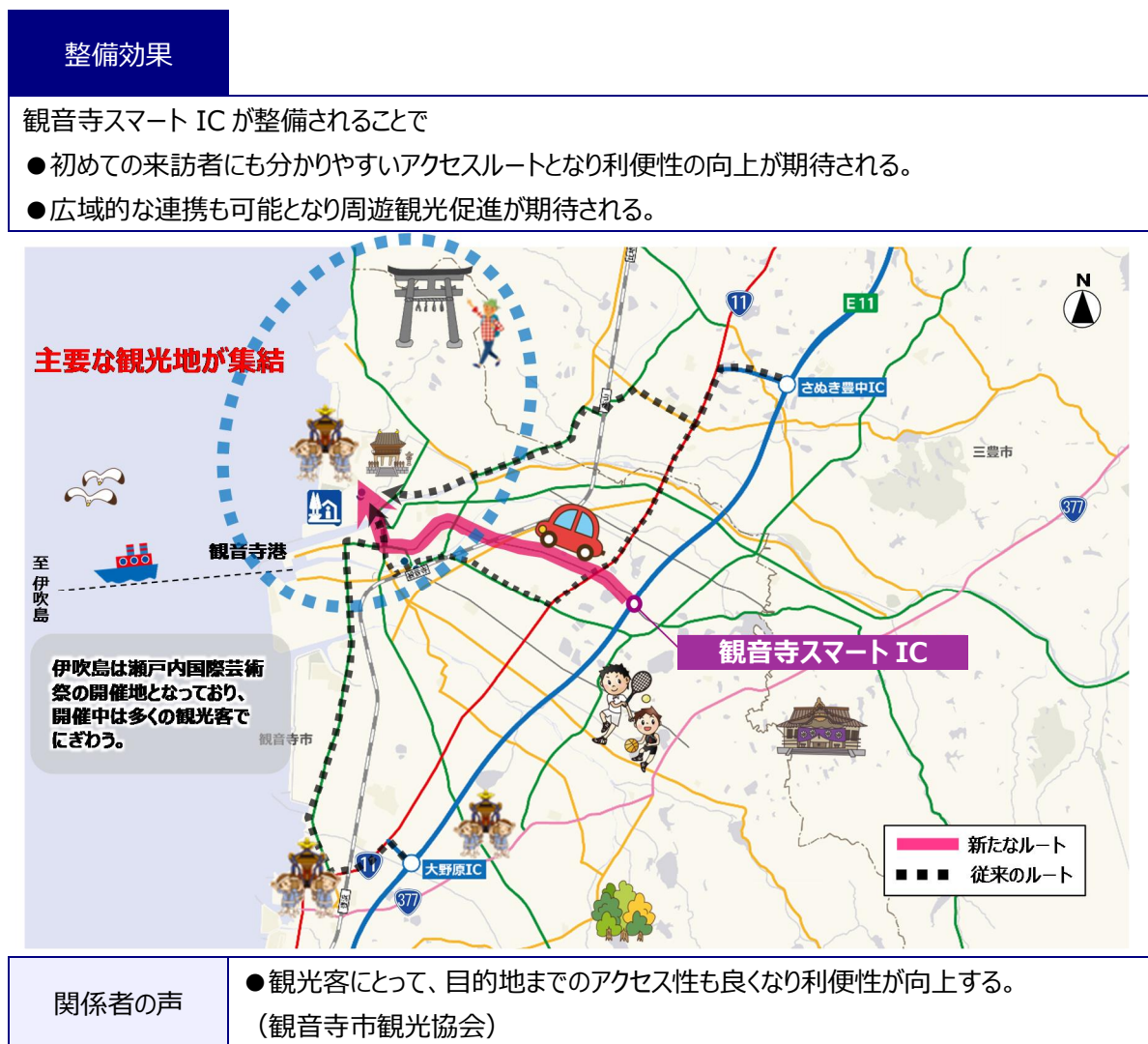


図 1.7 【観光】整備効果イメージ (ルート案内)



図 1.8 【観光】整備効果イメージ (広域連携)

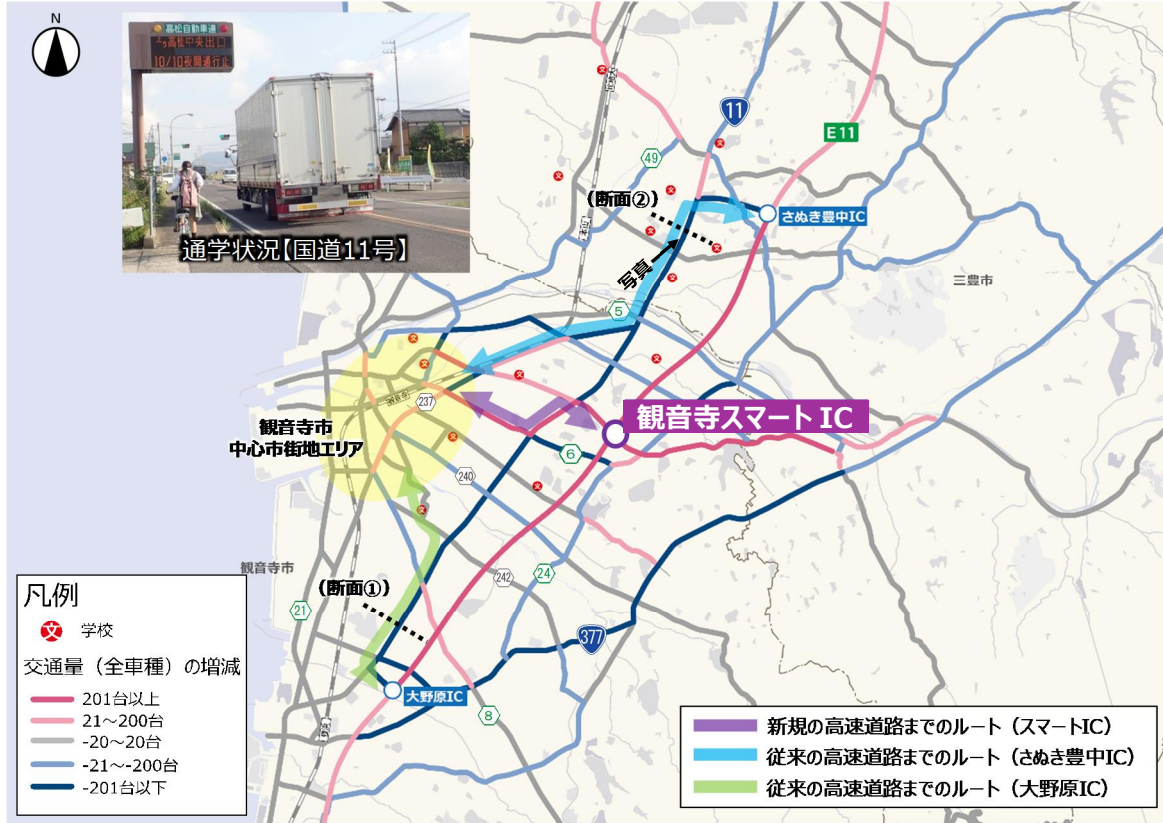
(5) 【交通安全】地域の未来を担う子供たちの安全性向上

整備効果

観音寺スマート IC が整備されることで

- 国道 11 号の交通量が高速道路へとシフトし交通量が減少することにより安全性向上が期待される。

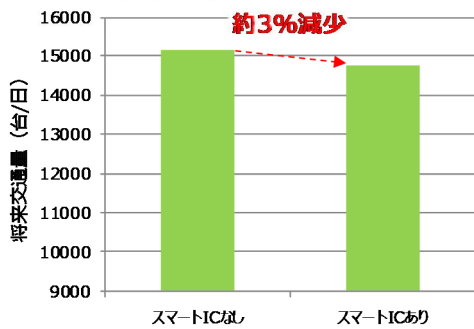
■ 観音寺スマート IC 整備の有無による将来推計交通量の変化



資料 / 将来交通量推計結果より算出

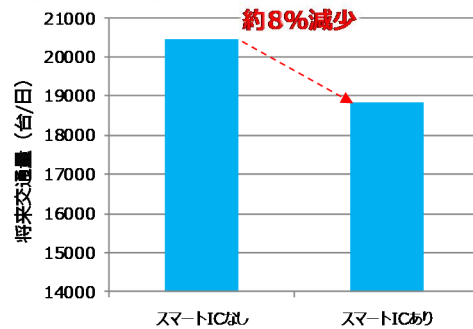
・（断面①）

◆ 国道11号（大野原IC付近）の将来交通量



・（断面②）

◆ 国道11号（さめき豊中IC付近）の将来交通量



資料 / 将来交通量推計結果より算出

関係者の声

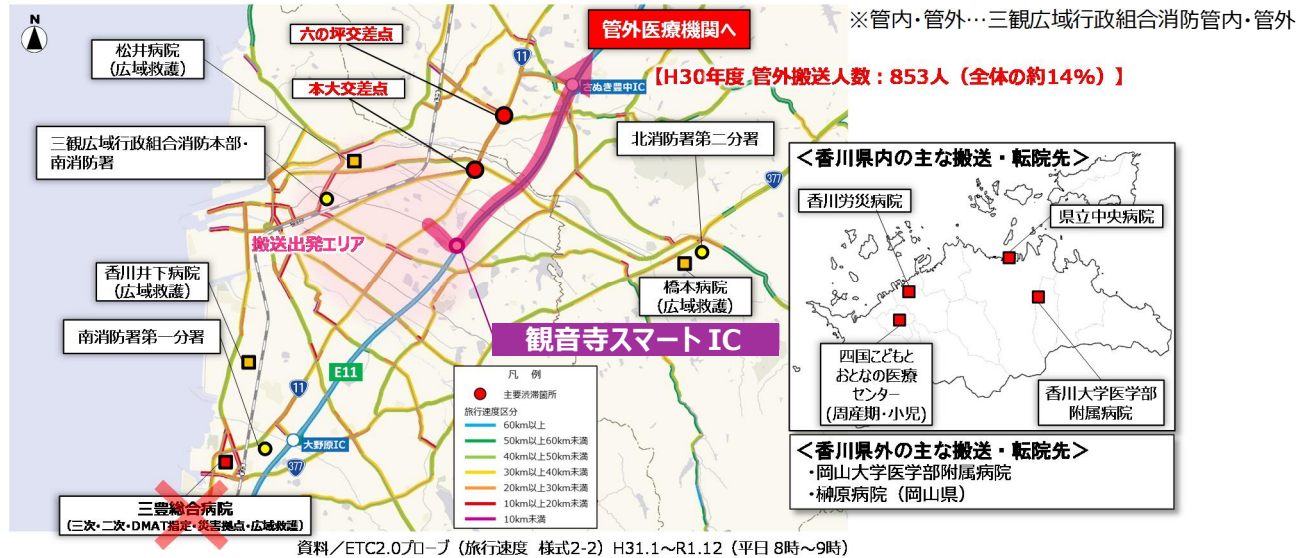
- スマート IC が整備されることにより、国道 11 号の交通量が減ると、通学時の安全性は高まる。（観音寺市教育関係者）

図 1.9 【交通安全】整備効果イメージ

(6) 【救急医療】多様な救急搬送ルート選択による安心な暮らし

整備効果

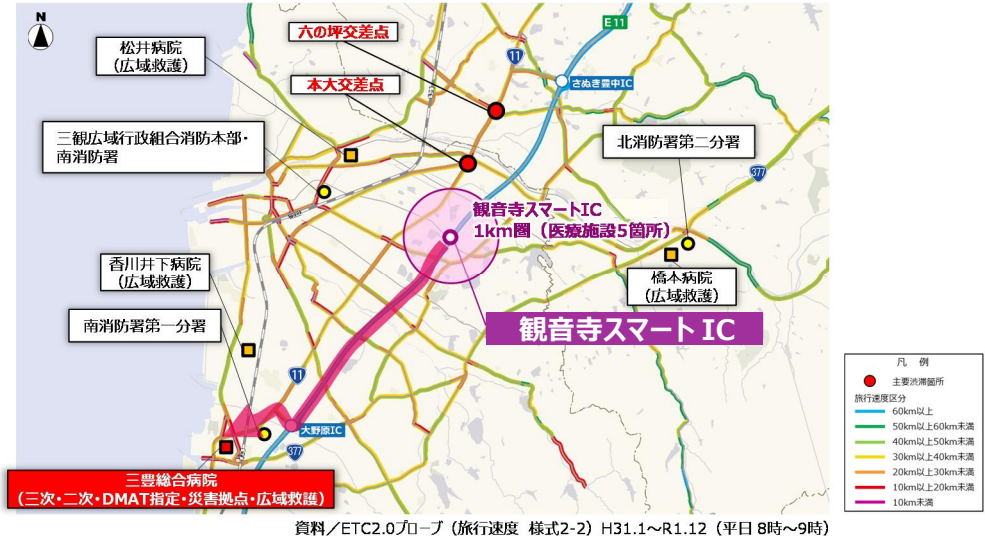
- 観音寺スマート IC が整備されることで
- 管内[※]第三次救急医療機関の受け入れができない場合に管外[※]への搬送時に有効活用が可能となる。
 - 管内[※]第三次救急医療機関への新しいアクセス拠点としての活用が期待される。



関係者の声

●三豊総合病院は愛媛県や徳島県からも搬送を受け入れており、受け入れできない状況が発生するため、スマート IC が整備されれば、管外への搬送に利用することが考えられる。（管内第三次救急医療機関関係者）

図 1.10 【救急医療】整備効果イメージ（管外搬送）



関係者の声

- スマート IC 予定地から半径 1 キロ圏域に 5 つ医療施設が点在している。転院実績の約 7 割が三豊総合病院であることから、転院の際はスマート IC が利用されると考えられる。（三観広域行政組合消防本部）
- 高速道路は一般道と比べて安全で信号もなく、揺れも小さいことから患者の負担を軽減することができる。（三観広域行政組合消防本部）

図 1.11 【救急医療】整備効果イメージ（管内搬送）

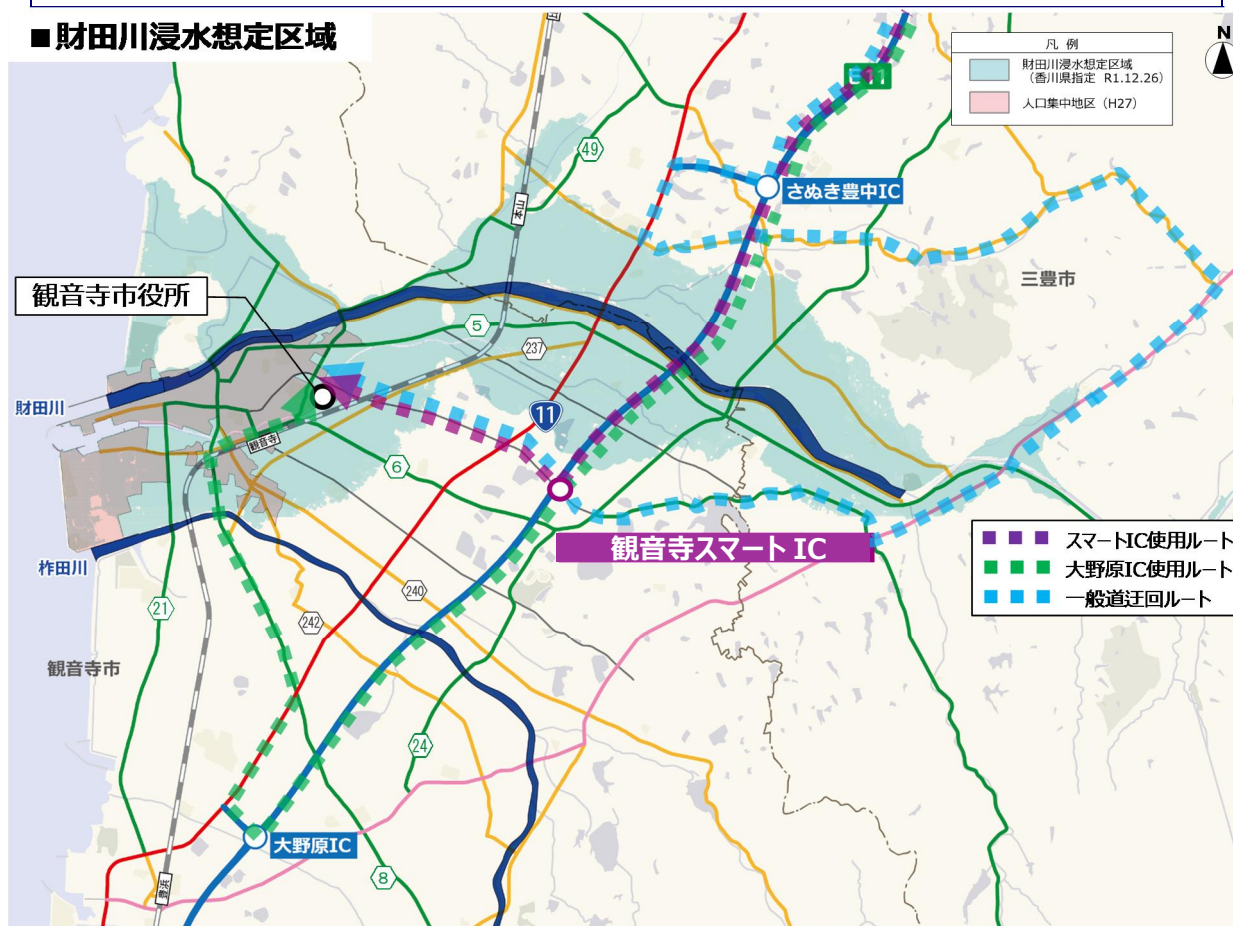
(7) 【災害・防災】豪雨災害時の支援受け入れの迅速な対応

整備効果

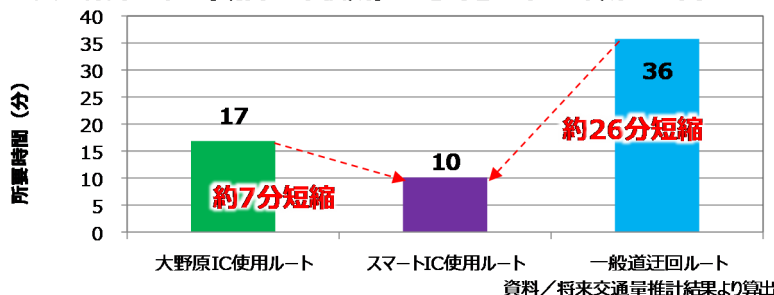
観音寺スマート IC が整備されることで

●財田川浸水想定区域（香川県指定 R1.12.26）では、国道 11 号が浸水想定区域に指定されており、支援活動が困難となることが予想されるが、スマート IC 整備により、代替路の確保による迅速な支援が可能となることが期待される。

■財田川浸水想定区域



◆人口集中地区（観音寺市役所）～さぬき豊中ICの所要時間



関係者の声

●災害発生位置や被害規模を考慮して利用 IC を選択してもらうため、観音寺スマート IC によって、物資輸送や人の移動等における高松自動車道へのアクセス箇所が増えることはメリットである。また、一般道と比べて高速道路は安全性が高く、危険を回避することで輸送効率を高められる。（観音寺市役所）

図 1.12 【災害・防災】整備効果イメージ（代替路）

(8) 【災害・防災】大規模災害時における、災害派遣、物資支援の強化

整備効果

観音寺スマート IC が整備されることで

- 物資拠点への供給が各 IC から 10 分程度で可能になり迅速な対応が期待される。
- TEC-FORCE など災害派遣における招集・出動の迅速な対応が期待される。

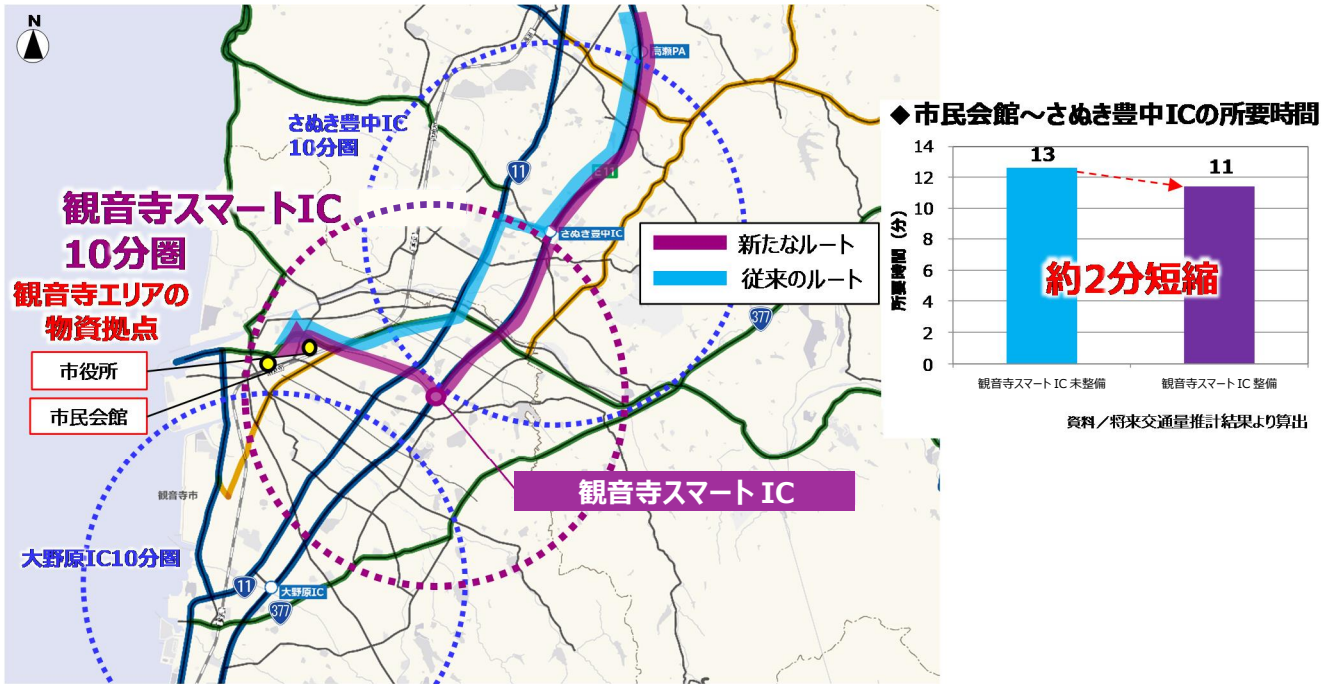
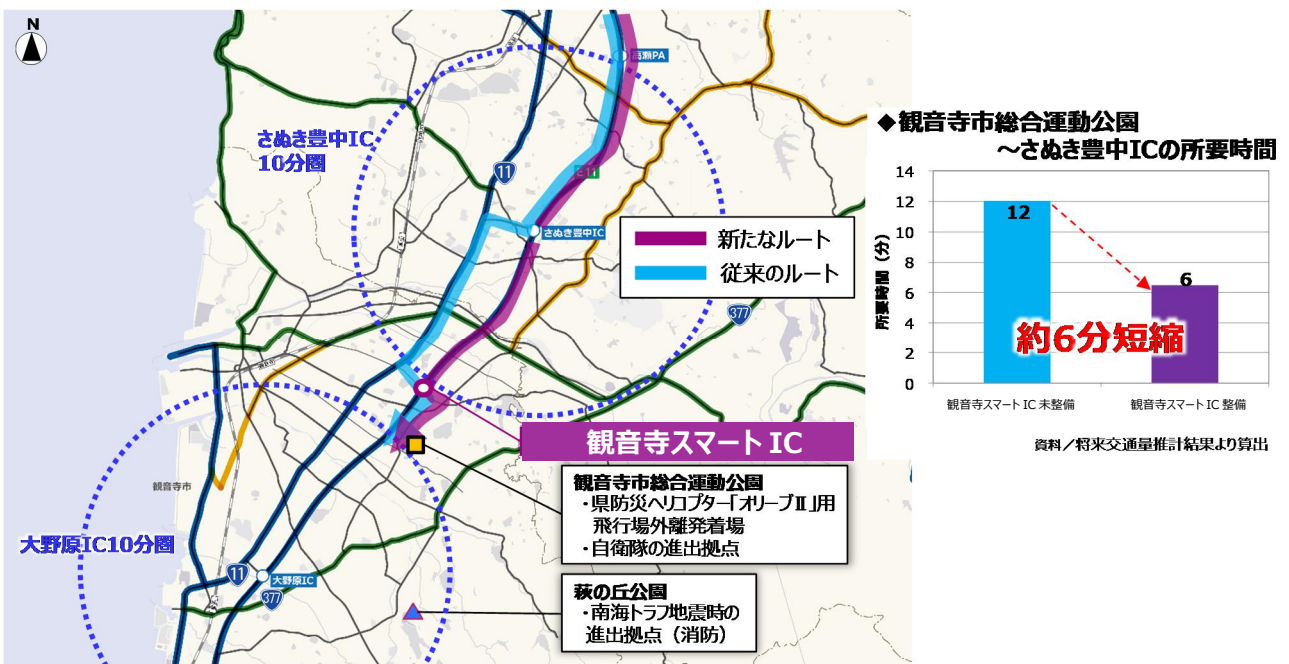


図 1.13 【災害・防災】整備効果イメージ (物資供給)



関係者の声

● 災害支援において、市役所や市民会館、観音寺市総合運動公園へのアクセス性は向上し、時間短縮につながる。(観音寺市役所)

図 1.14 【災害・防災】整備効果イメージ (災害派遣)